

7 本時の学習指導案 (1/3)

(1)目標

- ・ 「僕」の心情曲線を作成し、根拠を持って説明できる。

(2)学習指導過程

学習活動	生徒の意識の流れ	指導上の留意点
<p>1. アイスプラネットとは何かを想像する。</p> <p>2. 本文を通読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句から自由な発想でアイスプラネットを想像しようとする。 ・ 範読を聞き、読みの分からないものに振り仮名をふろうとする。 ・ 登場人物を確認しながら範読を聞こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材への興味をもたせるために、題名から本文の内容を想像させる。 ○ 読めない漢字には振り仮名をふるよう指示する。 ○ 場面5つに数字を振らせることで、内容を捉えやすくする。
<p>「僕」の心情の変化を読み取ろう。</p>		
<p>3. 初読の印象で心情曲線を書いてみる。</p> <p>4. 心情曲線を比較する。</p> <p>(1) 全体で数名の曲線を比較する。</p> <p>(2) ペアで比較する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を想起しながら、心情曲線を書こうとする。 ・ 前後の場面との関係を考えて曲線を書こうとする。 ・ 自分の心情曲線と比較し、同じ部分・違う部分を確認しようとする。 ・ 根拠を明らかにした説明をしようとする。 ・ ペアの意見を聞いて検討することで考えを深めようとする。 ・ 表現の工夫を見つけ、読み取れる内容を考えようとする。 ・ 自分や他の人の体験談から、ぐうちゃんと「僕」の関係を考えようとする。 ・ 他の人の意見を取り入れて、より説得力のある根拠を考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着目した文やキーワードには教科書に線を引かせ、何度も読み返させて理解を深めさせる。 ○ 数人に曲線を説明させることで、根拠を明らかにした説明や読み取りのポイントを意識させる。 ○ 表現から心情を読み取っている生徒の意見を取り上げることで、表現の工夫にも着目させる。 ○ 行動からも心情が読み取るために、「僕」主観の文章であることを注目するよう促す。 ○ 生徒自身にとっての叔父さんのイメージとぐうちゃんを比較させることで、「僕」とぐうちゃんの関係について考えさせる。
<p>6. 本時の成果をまとめとして、心情曲線を修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の人の意見も考察しながら曲線を修正しようとする。 ・ 初読の時と比べて読みが深まったことに気づく。 ・ 心情曲線を修正した理由をまとめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読みを深めるために、曲線が同じ動きになっている部分も根拠を確認させる。 ○ 色を変えて曲線を修正することで、学習の成果を見えるようにする。 ○ 修正した理由を文章にして書かせることで後に振り返りやすくする。

評価

- ・ 本文中の記述を基に「僕」の心情曲線を作成することができたか。

7 本時の学習指導案 (2/3)

(1)目標

- ・ 「僕」の心情の変化を読み取り、最も変化する部分を根拠を持って説明できる。

(2)学習指導過程

学習活動	生徒の意識の流れ	指導上の留意点
<p>1. 前時作成した心情曲線で、最も変化している部分を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 変化した部分がどこにあるか確認しようとする。 ・ 変化した部分の根拠を確認しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最も変化している部分が異なる数名に発表させることで、候補が複数あることに気づかせる。
<p>心情曲線が最も変化する部分を考えよう。</p>		
<p>2. 本文を音読する。</p> <p>3. 変化した部分がどこかを検討する。 (1) 自分の考えを書く。 (2) 班で最も変化する部分はどこか話し合う。</p> <p>(3) 全体へ発表する。</p> <p>4. 本時の成果をまとめる。 (1) 心情曲線を修正する。 (2) 学習のまとめを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな声で正確に文章を読もうとする。 ・ 心情曲線を意識しながら読もうとする。 ・ 自分の曲線をもう一度検討しようとする。 ・ 文の前後のつながりにも着目して心情の変化を読み取ろうとする。 ・ 自分の意見の根拠を明らかにして説明しようとする。 ・ 他の人の意見を検討するために本文を見返そうとする。 ・ マップにするために他の人の意見を聞き、新しい発見をしようとする。 ・ 他の班とは違う視点を発表しようとする。 ・ 他班の意見を取り入れて検討し直そうとする。 ・ マップを見返して、「僕」の心情を整理しようとする。 ・ どの意見が自分の中で説得力があるか考えてまとめようとする。 ・ 最初に書いた曲線とまとめた後の曲線を比較して本時の学習を振り返る。 ・ 他の人の意見から気づいた心情の読み取りの仕方をまとめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「僕」が主観の文であることを確認し、分かる心情を考えながら読むよう指示する。 ○ 着目するのが変化している部分であることを確認することで、前後の心情に着目すべきことに気づかせる。 ○ 班の中でキーワードや着目点を付箋に書き、マップにすることで、情報を整理しながら考えを深めさせる。 ○ 曲線が上がる場面は青い付箋に、曲線が下がる部分は赤い付箋に書かせる。 ○ 読みを深めるために、意見を一つに定めて検討するのではなく、気づいた意見を多く出すことを意識するように促す。 ○ 自分の読み取りの力をつけさせるために、班の中で意見を一つにまとめるのではなく自分の意見をまとめるように指示する。 ○ 気づいた心情の読み取りのポイントも書くように指示し、今後も活かせるように整理させる。

・ 評価

「僕」の心情の変化を、本文を基に根拠を持って書くことができる。

7 本時の学習指導案 (3/3)

(1)目標

- ・ 心情が最も大きく変化したのはどこか、根拠をもって説明できる。

(2)学習指導過程

学習活動	生徒の意識の流れ	指導上の留意点
<p>2. 前時の振り返りを する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の人の意見を知り、考えを深めようとする。 ・ 教科書を読みながら、理解を深めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時作成した付箋を使って、前時との繋がりを意識させる。 ○ 教科書を読み、どのような文章なのか把握させる。
<p>心情が最も大きく変化したのはどこか、根拠をもって説明しよう</p>		
<p>2. 心情曲線が最も変化するのはどこか、根拠をもって説明する。</p> <p>(1) ノートに記入する。</p> <p>(2) ペアの人に説明する。</p> <p>(3) 全体で共有する。</p> <p>3. 最終意見をノートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心情が読み取れる部分を探して、注意深く本文を読み直そうとする。 ・ 「僕」とぐうちゃんの関係を見返そうとする。 ・ これまでの心情曲線を参考にしながら「僕」の心情を考えようとする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明らかにして「僕」の心情を説明しようとする。 ・ 他の人の意見を聞き、自分の意見と比較することで、考えを深めようとする。 ・ 他の人の意見を聞き、自分の意見と比較することで、考えを深めようとする。 ・ 他の人の意見を聞いて、修正するところがあれば、修正しようとする。 ・ 他の人の意見を取り入れた上で、それに反論する文章を書こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 根拠をはっきり示せるように、教科書を読み直しながら記入するよう指示する。 ○ 第一次・第二次で書いた心情曲線を参考にするよう指示する。 ○ 机間指導をして、作業が進んでいない生徒がいれば、アドバイスをする。 ○ 話し合いが滞っているペアには、原因に応じたアドバイスをする。 ○ 意見をただ取りあげるだけでなく、反対意見や質問も同時に取りあげる。 ○ 授業途中で考えが変わった場合は、今考える意見を書けばよい、と作業前に説明しておく。 ○ 時間があまれば、感想を書くように指示する。

評価

- ・ 心情が最も大きく変化したのはどこか、根拠をもって記述できる。